

学習指導案

関西大学初等部 塩谷 京子

1. 教科・学年：国語科 第2学年

2. 単元名 : お話、大すき

3. 単元について

(1) 単元の目標

<国語科の目標>

易しい読み物に興味をもち、探して読む。

場面の様子や人物の気持ちなどについて、想像を広げながら読む。

自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考えて書く。

事柄の順序を考えながら、語と語、文と文との続き方に注意して書く。

書いた文章を読み返す習慣をつけ間違いに注意する。

句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、文の中で正しく使う。

<メディアリテラシーの目標>

異なるタイトルの昔話を比べ、異なるテキスト(絵、文章、映像など)でありながらも両者には似た骨組み(プロット)が存在することに気づく。

視点や力点の置き方によってお話が変わることへの気づきを通して、「制作者の意図」につながる「基礎的気づき」を培う。

(2) 単元の概要

小学校に入学してから1年半、子どもは自分が好きな分野の本を楽しんで読んだり、読み聞かせを楽しみにしたりするなど、読書に親しんでいる。しかし、子どもが手に取って読む本は、各自の興味関心や体験に沿ったものであるため、好きな分野が限定されていることが多い。

本単元は、「お話大好き」と題して、この時期の子どもの「読書の楽しさ」の幅を広げることをねらいとし、「書くこと」を取り入れた単元構成となっている。1年生の単元である「本とともにだちになろう」では「話すこと」を取り入れた単元構成であ

ることから、本単元では「書くこと」の取り入れ方が、単元構成時の鍵となる。

読書については、新学習指導要領「国語科」「読むこと」の内容の指導事項の中に「目的に応じた読書に関する指導事項」という記述がある。低学年においては、「楽しむためや知識を得るために、目的や必要に応じて、本や文章を選んで読むことを示している。」とある。さらに、「低学年においても、読む目的を意識して本や文章を選び、読書活動に関する見通しをもって取り組ませる必要がある。」と、明記されている。子どもが受け身の読書をするのではなく、自分で選び見通しをもって取り組むような読書活動を設定することも、単元構成時に忘れてはならないことである。

そこで、主人公に目を向けた読書活動と書き手になってお話を作る活動を通して、子どもの読書の楽しさの幅を広げる単元を組み立てようと考えた。

まず、主人公が小学校低学年の子どもの本を50冊ほど選び、じっくりと読む活動を行う。ここでは、内容よりも主人公に目を向けることで、今まで読まなかった分野の本を読むきっかけ作りとしたい。初めて出会った本であっても主人公の言動を意識して読むことで、主人公がどんな子なのかを把握しやすくなる。また、主人公の言動に触れることにより、主人公に共感したり反発したりしながら読み進める楽しさを味わうだろう。このようにして読む時間を確保した上で、一番心に残った本の紹介をしよう。ここでは、1年生で学習した「話すこと」を取り入れた紹介の仕方を確認しながら、主人公は誰か、どんな子か、その子がどうしたお話なのかを3文で話せるようにする。ここでは、お話の大体をつかんだ紹介ができているか、また、友だちの紹介で読みたい本があったのかなどを評価の観点とする。

十分お話を楽しんだ上で、次のお話を作る活動に入る。子どもはお話をたくさん読んでいるが、常に読み手の立場からお話に接している。お話を書くということは、読み手とは違う立場、すなわち書き手（作り手）という立場があることを知らねばならない。子どもは本には作者がいることは知ってはいるが、お話を書く人や書き手という立場の実感は乏しい。お話を読む活動から書くという活動に興味関心をもって入るためには、「書いてみたい」と思うような何らかの工夫が必要である。一番効果的なのはお話を書いている人の話を聞くことであるが、予算や日程などの問題からどの学校でも容易にできる方法ではない。そこで、異なったタイトルの昔話を比べ、異なるテキスト（絵、文章、映像など）でありながらも両者には似た骨組み（プロット）が存在することに気づく学習を設定した。子どもはタイトルが異なれば異なるお話だと思っている。ましてや日本のお話と海外のお話であればなおさらだ。ところが、よく

読んでいくと両者の骨組みは同じであることに気付く。同じ骨組みの存在を実感することで、お話の骨組みに肉をつけると様々なお話ができあがることを体験的に理解することが可能になる。この時点でようやく子どもは書き手の立場に立ち、書いてみたい、作ってみたい、自分にもできそうだなという気持ちになる。興味関心が高まったところで、お話を書く方法を伝え書き始めるという手順で単元を構成した。こうすることで、子どもは意欲をもってお話を作り、友だちが作ったお話にも関心を示すであろう。

こうした興味関心の高まりは、視点や力点の置き方によってお話が変わることへの気づきから生まれるものである。本単元では、このような「制作者の意図」につながる「基礎的気づき」を培うというメディアリテラシーの目標も意識しながら授業を進めることができる。

(3) 単元の計画

次	時	学習のねらい ・主な活動	指導上の留意点	評価の観点
第1次		自分で読んだり読んでもらったりして、お話を楽しむ。		
	1時 2時	・自分と同じくらいの年の子どもが主人公の本を読む。	<p>事前に50冊ほど選書し、ブックカードなどに並べておく。</p> <p>読む前に、読んだ本の書名と書いた人をワークシートに記入する。</p> <p>読んだ後の印象を、ワークシートに記号で記入する。(○、△、×など)</p> <p>自分が選んだ本をじっくりと読んでいる。</p>	
	3時 4時	・心に残った本を1冊選び、紹介しあう。	<p>読んだ中から心に残った本を1冊選びワークシートに記入する。</p> <p>選んだ本の主人公の名前、どんな子が、主人公がどうしたお話なのかをノートやワークシートにメモする。</p> <p>口頭で紹介しあう。</p> <p>「主人公の名前」「主人公はどんな子か」「誰がどうしたお話か」をつかんでいる。</p>	

次	時	学習のねらい ・主な活動	指導上の留意点	評価の観点
	第2次	骨組みを意識して、お話の構成を考える。		
	5時 本時1	・異なるタイトルの昔話を比べる。	絵本やDVDなど、複数のメディアを用意する。 骨組みを板書する。 お話の大体をとらえ、「だれが、どうした」お話なのかをつかんでいる。	
	6時 7時 8時	<ul style="list-style-type: none"> ・骨組みを確認し、各自が肉付けをすることを確認する。 ・(1)～(5)の手順を知る。(～は、次の授業で知らせる) ・登場人物、事件、終わり方など、お話の大体を考える。 ・事件から終わりまでの場面を考える。 	<p>前時の学習を生かし、同じ骨組みをもとにお話を作るとひとつひとつが違うお話になることを確かめながら、手順を説明する。</p> <p>手順</p> <p>(1)お話の大体を考える。</p> <p>登場人物(主人公と主人公以外の人)を決める。</p> <p>主人公にどんな事件がおきたのかを考える。</p> <p>どんな終わり方にするのかを決める。</p> <p>事件から終わりまでの場面を考える。</p> <p>(2)絵を描く</p> <p>(3)絵に対応して、原稿用紙に文を書く</p> <p>(4)表紙を作る</p> <p>(5)互いに見合う</p> <p>骨組みは同じでも作る人が違うと異なるお話ができることについて、不思議に思ったり、出来上がりを予想したりするなど、興味関心をもって取り組んでいる。</p>	

次	時	学習のねらい ・主な活動	指導上の留意点	評価の観点
			<p>ワークシートにメモを記入しながら、お話の大体を考える。</p> <p>お話の大体を作っている。</p> <p>事件と終わりをもとに、その間をつなぐ場面を考える。絵で考えても文で考えても構わない。</p> <p>事件が解決されるまでの場面を作っている。</p>	
第3次		お話を作り、紹介しあう。		
	9時 10時	・絵を描く。	<p>主人公の絵を決める。</p> <p>登場人物で1枚、事件で1枚、事件が解決されるまでの場面の枚数、終わりで1枚の絵を描く。</p> <p>場面を意識して絵を描いている。</p>	
	11時 12時	・原稿用紙に文章を書く。	<p>絵に沿って、原稿用紙に文章を書く。</p> <p>書いた文章を自分で読み返す。</p> <p>絵に沿った文章を書いている。</p>	
	13時	・表紙の絵を描く。	<p>読み手を引きつける表紙の絵を考える。</p> <p>意図をもって表紙の絵を描いている。</p>	
	14時 <u>本時2</u>	・友だちの作ったお話を読む。	<p>読んだお話の題名と作った友だちの名前を記入しながら読みあう。</p> <p>同じ骨組みでも書き手(作り手)によって様々なお話になることに気づく。</p>	

4. 本時について

(1) 本時1の目標(5/14)

日本昔話「金の斧」(DVD)、イソップ童話「正直なきこり」(読み聞かせ)を聞き、異なるタイトル(題名)でも、「登場人物」「起きた事件」「終わり方」などが同じであること(同じ骨組みが存在すること)に気づく。

(2) 本時1の展開

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
25分	<p>1. 学習の方向をつかむ。</p> <p>・「金の斧」を知っていますか。</p> <p>・「DVDを見てみましょう。」</p> <p>・「誰が出てきましたか。」</p>	<p>・「金の斧」との出会いなど、体験を聞く。似たお話を知っているという声があったら取り上げる。</p> <p>・「金の斧」と板書し、日本の昔話であることを確認する。</p> <p>・DVD「金の斧」を視聴させる。</p> <p>・見た後、タイトル、登場人物、斧、誰がどうしたお話なのかを確認する。</p>	

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
15分	<p>2. 読み聞かせを聞いた後、DVDと同じ点に目を向けた話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イソップ童話「正直なきこり」を読みます。 ・(子どもの「同じ」「似ている」という声を受けて) きょうは、同じところに目を向けて、お話を聞きましょう。 ・(読み終わった後) どこが同じですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの「同じ」という声を受けて、「同じところ」に目を向けて聞くと板書する。子どもの意欲を高めるために、教師から「同じ所に目を向けて読みしょう」と促さないように留意する。 ・「正直なきこり」の登場人物、斧、誰がどうしたお話なのかを確認しながら、同じ点が見えるように板書する。 ・登場人物の二人の性格の違いやどんな事件が起きて終わりはどうなったのかを簡潔に板書する。 ・子どもが、「意味は同じ」「内容は同じ」という言葉で同じところを言った場合は、それらを「骨組み」という言葉に置き換える。 ・子どもが、正直な人が得をして嘘つきが損をするという言い方をした場合は、「終わり方」は同じという 	<p>同じ点があることに気づき、どこが同じなのかを考えながら読み聞かせを聞いている。</p> <p>同じところを見つけ、発言している。</p>

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
		<p>言葉に置き換える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが、正直な人、嘘つきな人、神様が出てくるところが同じという言い方をした場合は、「登場人物」は同じという言葉に置き換える。 ・子どもが「斧を落としたところが同じ」という言い方をした場合は、普通は斧を池に落とさないけどこのときは斧を池に落としたという「事件」が起き、同じ「事件が起きた」という言葉に置き換える。 	
5分	<p>3 . 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(時間にゆとりがあった場合) 神様が出した斧の順番を変えると同じ所は変わるでしょうか。 ・きょうの学習でわかったことを振り返りカードに書きましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に神様が出す斧の順番や斧の素材を変えてお話を作ってみる。それらを変えてもお話の同じ所は変わらないことを確認する。 ・振り返りカードを用意する。 	

(3) 本時2の目標(14/14)

作成した絵本を互いに読み合い、同じ骨組みでも作り手によって多様なお話ができることに気づく。

作り手の視点の置き方によってお話が変わることへの気づきを通して、同じ骨組みでも「制作者の意図」につながる「基礎的気づき」を培う。

(4) 本時2の展開

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
15分	<p>1. 本時のねらいをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none">・「金の斧」と「正直なきこり」のお話を覚えていますか。・どんなことが同じでしたか。 <p>・「これは さんが作ったお話です」と言って、予想させた上で読む。</p> <p>・「金の斧」や「正直なきこり」とは、どこが、違いましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・学習を想起させるために本の表紙やDVDのケースを見せる。・第5時の板書で使用した「骨組み」「登場人物」「事件」「終わり方」のカードを黒板に貼り、授業を思い出させる。・友だちが作ったお話を取り上げ、「金の斧」や「正直なきこり」などと比べ、骨組みは同じだが違った内容になっていることに気づかせる。・同じ骨組みから違うお話ができることに目を向けながら読むことを意識させる。	

時間数	学習活動	指導上の留意点	評価
15分	2. 友だちの作品を読む。 ・骨組みを見つけながら、友だちの作品を読んでみましょう。	・4人グループで、一人ずつ自分の作品を読みあう。 ・1人が読み、3人が聞く。 ・3人にタイトルから骨組みにどのように肉付けをしたのかを予想させる。 ・3人は骨組みが見えたら、ピンクの付箋紙を作品に貼る。 ・3人は、予想と違ったところやおもしろいと思ったところに、黄色の付箋紙を貼る。	骨組みを探しながら、友だちが作ったお話を読んでいる。
10分	3. 感想を共有しあう。 ・友だちの作品を読んで、骨組みが見えましたか。 ・予想と違ったところがありましたか。	・友だちの作品についての気づきを発表しあうとともに、本時のねらいにせまるような発言内容も取り上げ板書していく。 ・発言が出ない場合は、本時のはじめの発問を繰り返し、同じ骨組みをもとに皆で作成したお話であることを再認識させる。	友だちの作品を読んで気づいた違いを発表している。
5分	4. 学習を振り返る。 ・きょうの学習でわかったことを振り返りカードに書きましょう。	・振り返りカードを用意する。	

5. ワークシート

第1回

第1回授業の最後に、以下の「振り返りカード(ワークシート)」を使用する。

振り返りカード						
ワークシート						
年 組 番()						
日本昔話「金の斧」をDVDで見たり、イソップ童話「正直なきこり」の読み聞かせを聞いたりします。みんなで話し合いをしたあと、わかったことを書きましょう。						
<table border="1"><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr></table>						

第2回

第2回授業の最後に、以下の「振り返りカード(ワークシート)」を使用する。

振り返りカード						
ワークシート						
年 組 番()						
今日、わかったことを書きましょう。						
<table border="1"><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr><tr><td> </td></tr></table>						

< 児童が記述したワークシート >

第 1 回

ワークシート① 振り返りカード
関西大学初等部
年 組 番 ()

日本昔話「金の斧」をDVDで見たり、イソップ童話「正直なきこり」の読み聞かせを聞いたりします。みんなで話し合いをしたあと、わかったことを書きましょう。

「作者がちがえは、中みちから...!と思っていたけれど、ほかの国とくらべて、いっしょのところがあったりすること。

ワークシート① 振り返りカード
関西大学初等部
年 組 番 ()

日本昔話「金の斧」をDVDで見たり、イソップ童話「正直なきこり」の読み聞かせを聞いたりします。みんなで話し合いをしたあと、わかったことを書きましょう。

「だいいいがかちがうけど」いっしょは、いっしょだったです。

ワークシート① 振り返りカード
関西大学初等部
年 組 番 ()

日本昔話「金の斧」をDVDで見たり、イソップ童話「正直なきこり」の読み聞かせを聞いたりします。みんなで話し合いをしたあと、わかったことを書きましょう。

「だいいいや、さくしゃがちがって、おじいさん、とうじょうじんぶつのはいかにとか、いっしょだということもわかった。」

ワークシート① 振り返りカード
関西大学初等部
年 組 番 ()

日本昔話「金の斧」をDVDで見たり、イソップ童話「正直なきこり」の読み聞かせを聞いたりします。みんなで話し合いをしたあと、わかったことを書きましょう。

「さくしゃがちがって、おみの中みは、おなじになっていることがわかった。」

第2回

ワークシート②	振り返りカード
年 組 番 ()	関西大学初等部
<input type="checkbox"/> 今日、わかったことを書きましょう。	
ほねぐみはみんな同じだけれど肉づけが ちかたら本の中みもすごくかわることが わかりました。ひまな時や冬休みの時 自分でつくろうと思います。	

ワークシート②	振り返りカード
年 組 番 ()	関西大学初等部
<input type="checkbox"/> 今日、わかったことを書きましょう。	
ほねぐみはみんなと同じだけれど肉づけが ちかたら本の中みもすごくかわることが わかりました。ひまな時や冬休みの時 自分でつくろうと思います。	

お話を作る時のワークシート

第1回の授業後に児童がお話を作るときに、以下の「骨組みを作ろう ワークシート」を使用する。

骨組みを作ろう ワークシート
年 組 番()

主な登場人物とうじょうじんぶつをきめましょう。それぞれ、どんな人でしょうか？

登場人物	どんな人かな？

どんなじけんがおきたのかな？ さいごはどうなったのかな？

こんなじけんがおきました。

さいごは、こうなりました。

(ア) (イ) (ウ)

児童に、自分が書きたいお話の登場人物と、登場人物の特徴を記述させる。

児童に、自分が書きたいお話で起きる事件について記述させる。

結末を記述させる。

(ア)～(ウ)には、事件が起きてから結末までの流れを記述させる。
複数の事件を記述する児童もいるが、それでもよいこととする。

< 児童が記述したワークシート >

骨組みを作る ワークシート ② 関西大学初等部
2年 組 番()

□ 主な登場人物をきめましょう。それぞれ、どんな人でしょうか？

登場人物	どんなひとかな？
さくとしさん	やさしい。わるいことは一切げない。
いしとしさん	わるいことばかりしていて、さくとしさんとまはみんたい。
石のかみさま	うそをついたり、いいことをしたりしては、せむじむわがっている。
さいごのあひまさん	とてもやさしい。いしとしさんはわるい人と思ってる。

□ どんなじけんがおきたのかな？ さいごはどうなったのかな？

こんなじけんがおきました。
さくとしさんが石のかみから出てきてかみさまが話を聞いてくれて、いしとしさんはうそをつかれてさくとしさんがかわりました。

➡

さいごは、こうなりました。
さくとしさんはとくしたけれど、いしとしさんはなにもとくさずにはなかがあたたか。

(ア) 石のかみさまが出てきてかみさまが話を聞いてくれて、いしとしさんはうそをつかれてさくとしさんがかわりました。

その話を聞いたいしとしさんは、新しいとんかちをつけて、自分のとんかちをまわごじをかたり石をたたいておれた。さくとしさまはあごごいことをしてはいはくれない。

骨組みを作る ワークシート ② 関西大学初等部
2年 組 番()

□ 主な登場人物をきめましょう。それぞれ、どんな人でしょうか？

登場人物	どんなひとかな？
えみ	とてもやさしくかわいいた犬をかっている
エミリー	かわいくて、いつもえみにかわいがかってまわっている。
みゆ	とてもわんぱうでいじめるでいつもえみをいじめている
リン	いじめるで、いつもエミリーをいじめている。

□ どんなじけんがおきたのかな？ さいごはどうなったのかな？

こんなじけんがおきました。
ある日えみとエミリーが遊ぶとき、みゆとリンがきてえみと犬のエミリーをいじめた。

➡

さいごは、こうなりました。
さいごは、なかがありして、いっしょになかよくさんぽをした。

(ア) そのよるみゆがていているとき、えみがかわりました。

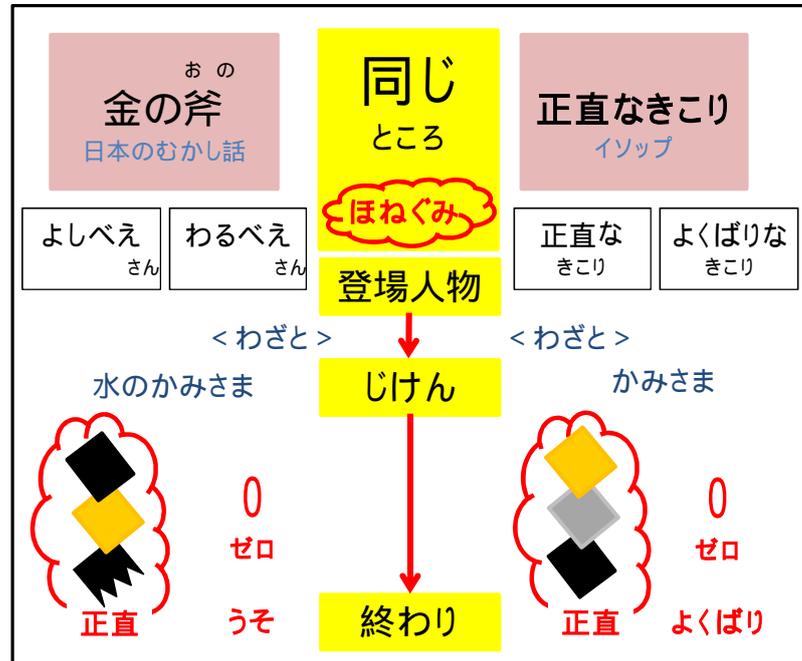
(イ) あしたになるとはなかがあたたかよめた。とんかちをまわごじがおきました。

(ウ) みゆは犬のリンとなきながらえみと犬のエミリーのところへおいそまわがやまりにいれた。

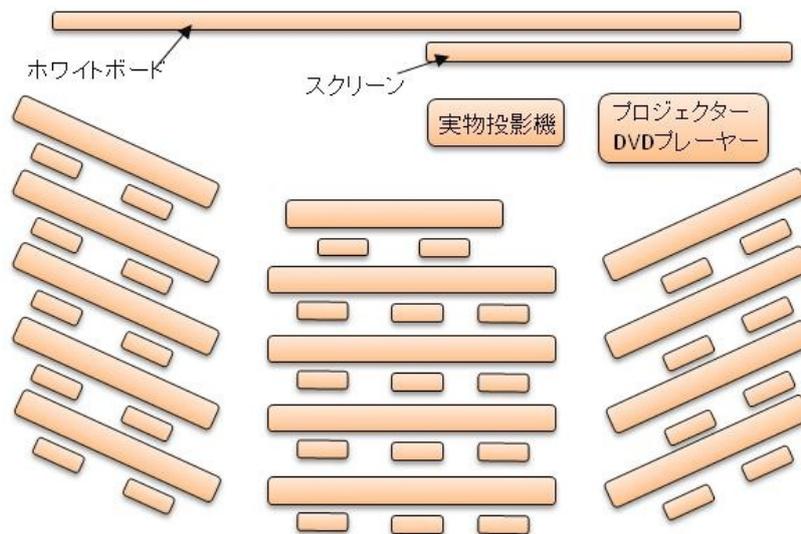
6. 板書・教室配置図

第1回

< 板書 >



< 教室配置図 >

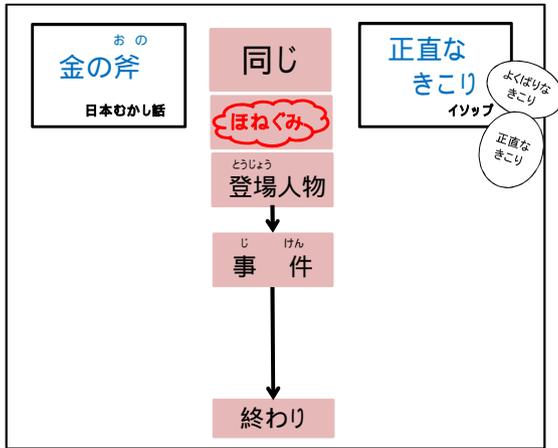


第2回

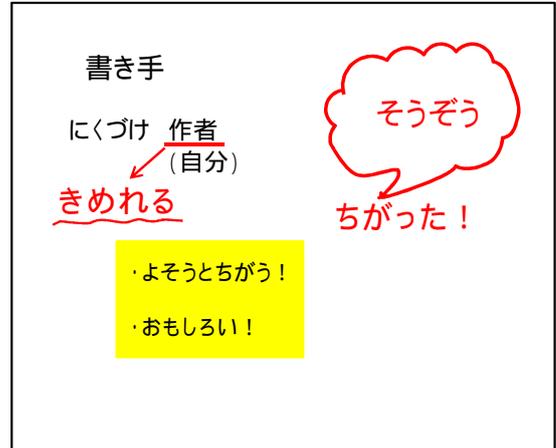
<板書>

ホワイトボード（左）

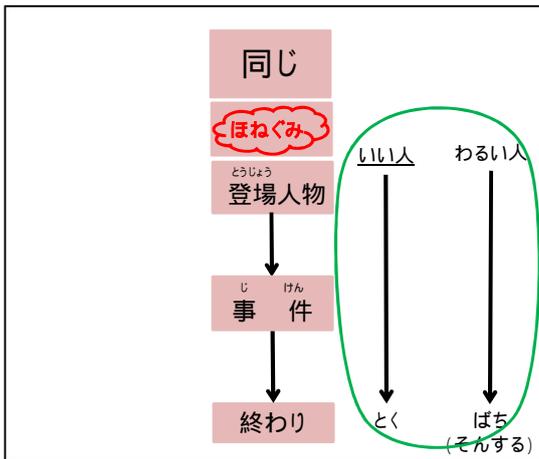
その1



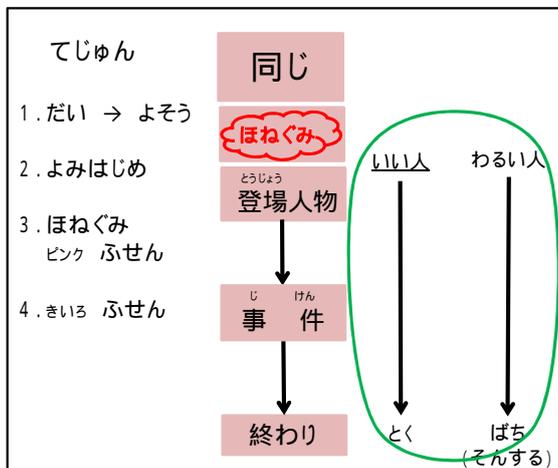
ホワイトボード（右）



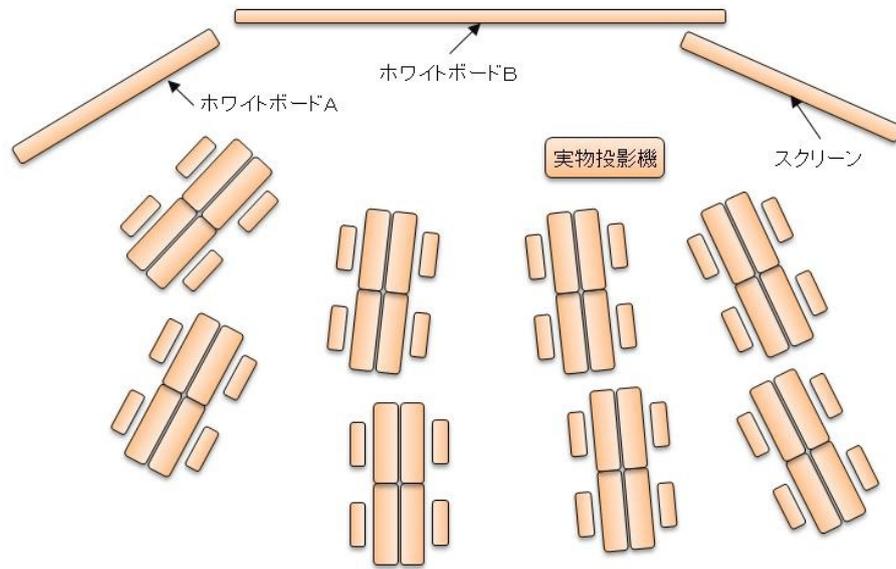
その2



その3



< 教室配置図 >



< 参考資料 >

授業で使用した「金の斧（映像）」と「正直なきこり（絵本）」のあらすじ

映像（DVD）「金の斧」（日本昔話）

心の優しいよしべえさんは、一つしかない古くて重たい斧で木を切っていた。すると手を滑らせて、斧を池に落としてしまった。水の神様が現れ、新しい斧・金の斧・よしべえさんの斧と順番に池の底から拾ってきてくれる。よしべえさんは、正直に、最後の斧が自分の斧だと答え、その正直さを気にいった神様は、新しい斧も金の斧もよしべえさんに与えた。

そのことを聞いたわるべえさんは、自分の新しく軽い斧を3つともわざと池に投げ込んだ。神様が現れ、わるべえさんの3本の斧・3本の金の斧と順に拾ってくれるが、金の斧が自分の斧だと嘘をつく。嘘を見抜いた神様は、怒って、全ての斧をわるべえさんから取り上げてしまった。

絵本「イソップどうわ2_正直なきこり（川崎 洋 文）」

きこりが木を切っていると、うっかり斧を池に落としてしまった。すると、神様が現れ、金の斧・銀の斧・鉄の斧と順番に拾ってくれる。きこりは、正直に、最後の鉄の斧が自分のものであると答えると、神様は、その正直さに感心し、金の斧と銀の斧もきこりに与えた。その話をきいた欲張は、池に斧を放り込んだ。神様が金の斧を持って現れると、その欲張は、その金の斧が自分のだと答える。すると、神様は「このうそつきめ」と欲張の斧も取り上げてしまった。

「金の斧（日本昔話）」及び「正直なきこり（イソップ）」の映像・本リスト

	タイトル/著者 等	お話の特徴		
		登場人物	手に入れた斧(櫛)	斧(櫛)の消えた場所
像 ₁ 「金の斧（日本昔話）」に関する映像	金の斧（DVD：15分） こども にんぎょうげ きじょう 日本編 （NHKエンタープライズ）	よしべえさん （正直者）	金の斧 新しい軽い斧 自分の斧	池
		わるべえさん （うそつき）	自分の斧も失う	
		水の神様（男）		
	こがねの斧（VHS） まんが日本昔ばなし 第7巻 （アミューズソフトエンターテインメント）	働き者の爺さま （正直者）	金の斧 自分の斧	淵
		怠け者の爺さま （不正直者）	自分の斧も失う	
		水神様（女神）		
「正直なきこり（イソップ童話）」の本 ₂	正直なきこり 「イソップどうわ2」（絵本） 川崎洋 文 中村景児 絵 （小学館）	きこり （正直者）	金の斧 銀の斧 自分の鉄の斧	池
		よくばり （うそつき）	自分の斧も失う	
		かみさま（男）		
	木こりとヘルメス 「きつねがひろったイソップものがたり」（絵本） 安野光雅 文/絵 （岩波書店）	木こり（正直者）	金の斧 銀の斧 自分の斧	川
		なかまの木こり （うそつき）	自分の斧も失う	
		ヘルメス（男神）		
	木こりとヘルメス 「イソップ童話[下]」 二宮フサ 訳 （偕成社文庫）	木こり（正直者）	金の斧 銀の斧 自分の斧	川
		なかまの木こり （うそつき）	自分の斧も失う	
		ヘルメス（男神）		
「金の斧」に関する日本昔話の本 ₃	黄金の斧* ⁴ 「日本昔話大成 6」 （角川書店）	よいお爺	黄金の斧 自分の鉄の斧	淵
		悪いお爺	自分の斧も失う	
		水神様		
	金の斧 ちくまライブラリー32「昔話の年輪 80選」 稲田浩二 編 （筑摩書房）	真面目な木挽き	金の斧 銀の斧 自分の斧	池
		悪い爺まな	自分の斧も失う	
		美(オク)すい女		

	タイトル/著者 等	お話の特徴		
		登場人物	手に入れた斧(櫛)	斧(櫛)の消えた場所
「金の斧」に関する日本昔話の本 ^{*3}	黄金の斧(新潟県) 「日本民話集 12 異次元への旅」 野村純一、松谷みよ子 監修 (作品社)	お爺さん	金の斧 自分の斧	穴
		欲張り爺さん	自分の斧も失う (鬼に追いかけて逃げて帰る)	
		お地蔵さん		
	金の櫛、銀の櫛、機(長野県) 「日本民話集 12 異次元への旅」 野村純一、松谷みよ子 監修 (作品社)	正直なお婆さん	金の櫛 銀の櫛 自分の木の櫛	川
		欲ばり婆さん	川の中に引っ張り込まれる	
		白髪のお爺さん		
	金の斧・鉄の斧 ^{*4} 「昔話十二月 三月の巻」 松谷みよ子 編著 (講談社文庫)	西の爺(正直)	黄金の斧 自分の鉄の斧	沼
		東の爺(不正直)	自分の斧も失う	
		水神様(娘の神様)		
	金の斧銀の斧 ^{*4} 「日本昔話記録 10 大分県直入郡昔話集」 柳田国男 編、鈴木清美 採録 (三省堂)	正直な樵	金の斧 銀の斧 自分の鉄の斧	池
		悪い樵(うそつき)	自分の斧も失う	
		真白い髭のお爺さん		

*1 「金の斧」と類似したお話の映像をリスト化した。

*2 「正直なきこり」に関するイソップの本をリスト化した。

*3 「金の斧」と類似した日本昔話をリスト化した。

*4 「金の斧」と類似した話が複数掲載されているが、「お話の特徴」はその中の一つについて記述した。

関西大学初等部の授業では、映像「金の斧(こどもにんぎょうげきじょう)」と、絵本「正直なきこり(イソップどうわ2)」を使用した。